

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名

徳島県

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	徳島市不動小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1	0	6	12
児童数	26	32	31	25	24	26	0	164	

研究の概要

1. 研究主題

「確かな学力を身につけ、心豊かにたくましく生きる子どもをめざして」
 - 基礎・基本の定着をはかり、学ぶ意欲を育てる授業の創造 -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

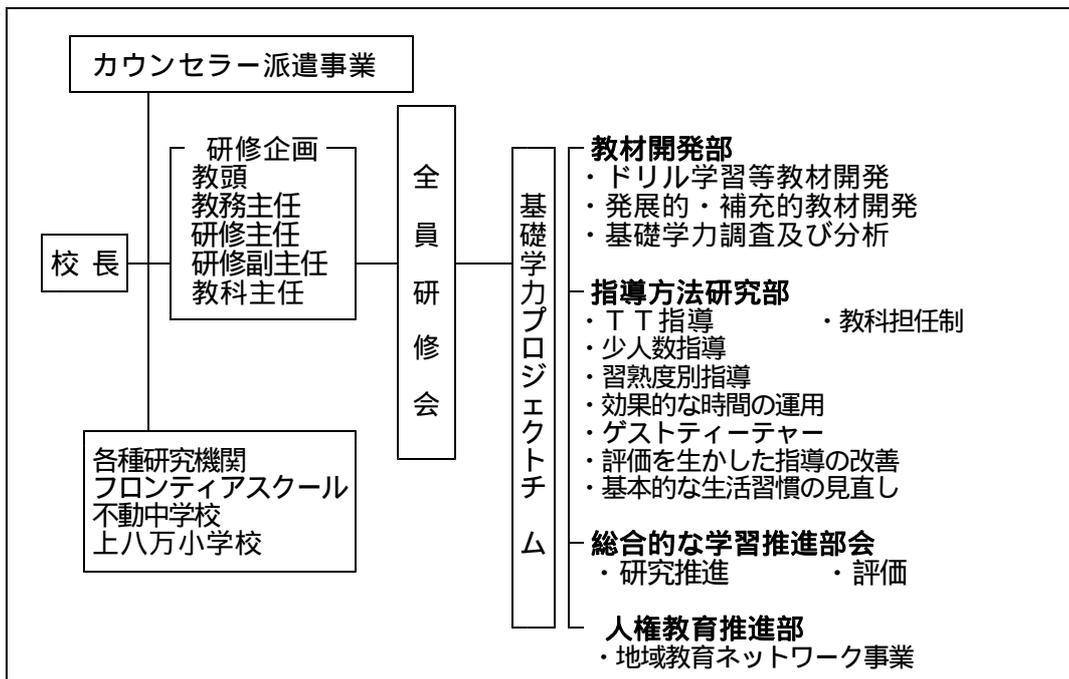
(算 数)
 本年度は、算数科において、特に「単元の終末段階での個に応じた指導方法」に重点を置いて、取り組んでいる。そのため、低・中・高学年において次の学年が授業研究会を実施した。
 ・1年生(課題選択学習)
 ・4年生(習熟別少人数指導)
 ・6年生(教材開発、TT指導)
 ・全学年(100ます計算を継続的に実施)
 (国 語)
 ・全学年(音読、読み聞かせ))

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年 度	テーマ ・単元の終末段階での、個に応じた指導方法の研究 ・「聞く力」や「読む力」をつけるための実践的な取り組み 研究の見通しと、内容・方法 (1学期) ・基礎学力定着化プロジェクト事業について共通理解を図る。 ・テーマについて検討し、共通理解を図る。 ・学力観及び基礎基本についての共通理解を図る。 ・児童の実態把握と考察...学力検査・観察 ・学力向上のための学校全体としての取り組みについて話し合い ...100ます計算、音読、読み聞かせの常時指導 (2学期) ・算数科授業研究会3回実施...教材開発と指導方法・指導体制の研究 ・プロジェクト事業に対する保護者への理解を深め、基本的な生活習慣の大切さを啓発する取り組み...生活アンケートの実施・保護者への広報 (3学期) ・本年度の取り組みについて、ホームページ作成準備 ・国語の単元別チェック表作成 ・聞く力・読む力を育成するための方法について指導講話 ・習熟度別少人数指導や課題選択学習の年間計画作成 ・研修の反省と来年度の取り組みについて話し合い
--------------------	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた指導法の改善 ・補充・発展教材の開発 ・全教科・活動を通して、「書くこと」の指導に重点をおき、「聞く力」「考える力」「表現する力」の育成 <p>研究の見通しと、内容・方法</p> <p>(1学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究テーマ、研修計画の見直し ・習熟度別少人数指導や課題選択学習の年間計画見直し ・不動タイムの見直し...継続的な指導の場を設定し、基礎学力定着に活用 ・学業不振児の事例研究を実施し、効果的な指導方法研究 ・学力検査・生活アンケートの結果を分析・考察し、効果的な指導方法を研究する。 ・国・算のチェックリストの活用 ・授業研究会実施 <p>(2学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究会実施 ・補充・発展問題の充実を図る。 ・小規模校として取り組み可能な指導体制や指導方法研究 ・本校の取り組みについて発信 <p>(3学期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力検査の実施 ・本校の取り組みについて発信 ・研究のまとめ
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・児童の実態を明確に把握するために、学力検査を2回実施し、その結果を分析考察する事ができた。
- ・個に応じた指導のため、習熟度別少人数指導や課題選択学習などの指導法の研究と、補充・発展的指導のための教材開発に取り組めた。
- ・学習習慣や集中力を身につけさせるために、100ます計算、音読、読み聞か

せなどの継続的な指導を実践することができ、一定の効果を得ることができた。

- ・児童の実態把握のために、国語の単元別個人チェックリストを作成した。
- ・保護者に月1回「不動学びネット」を発行し、基本的な生活習慣を見直してもらうことに役立てることができた。
- ・生活アンケートを実施し、児童自らの基本的な生活習慣を振り返らせる機会となった。
- ・「聞く力」をつけるための方法について、指導助言をうけることができた。
- ・普段の児童の様子を大学の先生に参観してもらい、教師の接し方・児童の実態についてアドバイスを得ることができた。

2. 今後の課題

- ・反復練習の充実を図るための有効な場の設定
- ・反復練習を意欲的に継続するための手だて
- ・2回目の学力検査の分析や考察と有効な活用
- ・小規模校での少人数指導・T・T指導の困難さをカバーする指導体制づくり
- ・思考力を高めていくための学習指導の展開について事例研究の必要性
- ・学業不振児に対する事例研究の必要性
- ・学習意欲を継続して持たせることの困難さ
- ・特に聞く力・読む力・自己表現力をのばすための指導方法の研究
- ・補充・発展問題の開発

学力等把握のための学校としての取組

- ・年度始めと終わりに、国語・算数の学力テスト実施
- ・国語科において、単元別個人チェック表の活用
- ・基本的な生活習慣見直しのために、児童を対象に生活アンケートを実施
- ・100ます計算の日々ののびを記録し、児童の意欲づけをしている。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- * 研究会、説明会等の開催実績 ... 本年度はなし
開催予定 ... 来年度実施予定（日時、場所、対象、会の目的等未定）
- * 研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等の実績（学校としての創意工夫を含む）及び今後の予定
・「個に応じた指導のための教材・指導資料集」HPへの研究成果掲載
・研究集録の作成
- * フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定
来年度実施予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無